

2025年3月期 期末決算説明会

2025年5月22日

京成電鉄株式会社



- 1. 2025年3月期 連結決算**
2. 2026年3月期 連結業績予想
3. D1プランの達成状況および今期の取組み
4. 参考資料

1-1. 業績概要 [連結損益計算書]

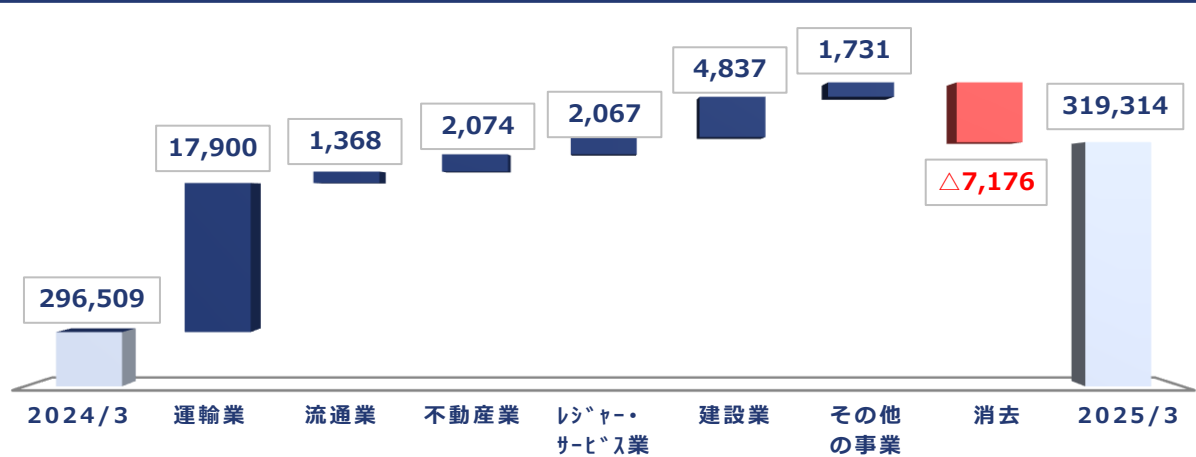
- ・インバウンド需要の増大に伴う、運輸業における成田空港輸送の増加等により営業段階では増収増益
- ・関係会社株式の売却に伴い特別利益（関係会社株式売却益）を計上

■ 連結損益計算書

単位：百万円、%	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	率
営業収益	296,509	319,314	22,804	7.7
営業利益	25,241	36,008	10,766	42.7
(営業利益率)	8.5	11.3	2.8pt	－
経常利益	51,591	61,755	10,164	19.7
(持分法投資利益)	25,927	25,739	△187	△0.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	87,657	69,961	△17,695	△20.2
(関係会社株式売却益)	70,853	53,157	△17,696	△25.0
減価償却費	33,352	32,600	△751	△2.3

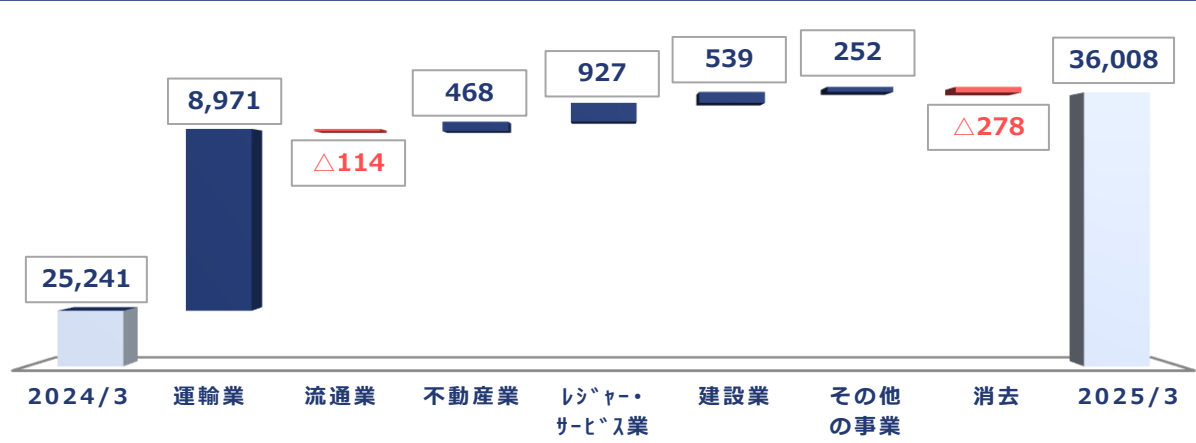
■ 営業収益増減（セグメント別）

(単位：百万円)



■ 営業利益増減（セグメント別）

(単位：百万円)



1-2. 業績概要 [連結貸借対照表]

有利子負債の削減により、自己資本比率が上昇

■ 連結貸借対照表

単位：百万円、%	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	増減要因
資産	1,064,202	1,094,120	29,918	
現金及び預金	82,459	51,529	△30,930	有利子負債の返済等による減
有形固定資産	659,935	704,321	44,386	
投資有価証券	225,591	236,626	11,035	
負債	595,044	569,462	△25,581	
有利子負債 ※	401,306	363,050	△38,256	
純資産	469,157	524,658	55,500	親会社株主に帰属する当期純利益の計上
自己資本比率	42.4	46.5	4.1pt	
EBITDA倍率(倍) ※	6.9	5.3	△1.6pt	
自己資本利益率(ROE)	20.7	14.6	△6.1pt	
株価純資産倍率(PBR)(倍)	2.2	1.3	△0.9pt	

※有利子負債にはリース債務を含む
EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

1. 2025年3月期 連結決算
- 2. 2026年3月期 連結業績予想**
3. D1プランの達成状況および今期の取組み
4. 参考資料

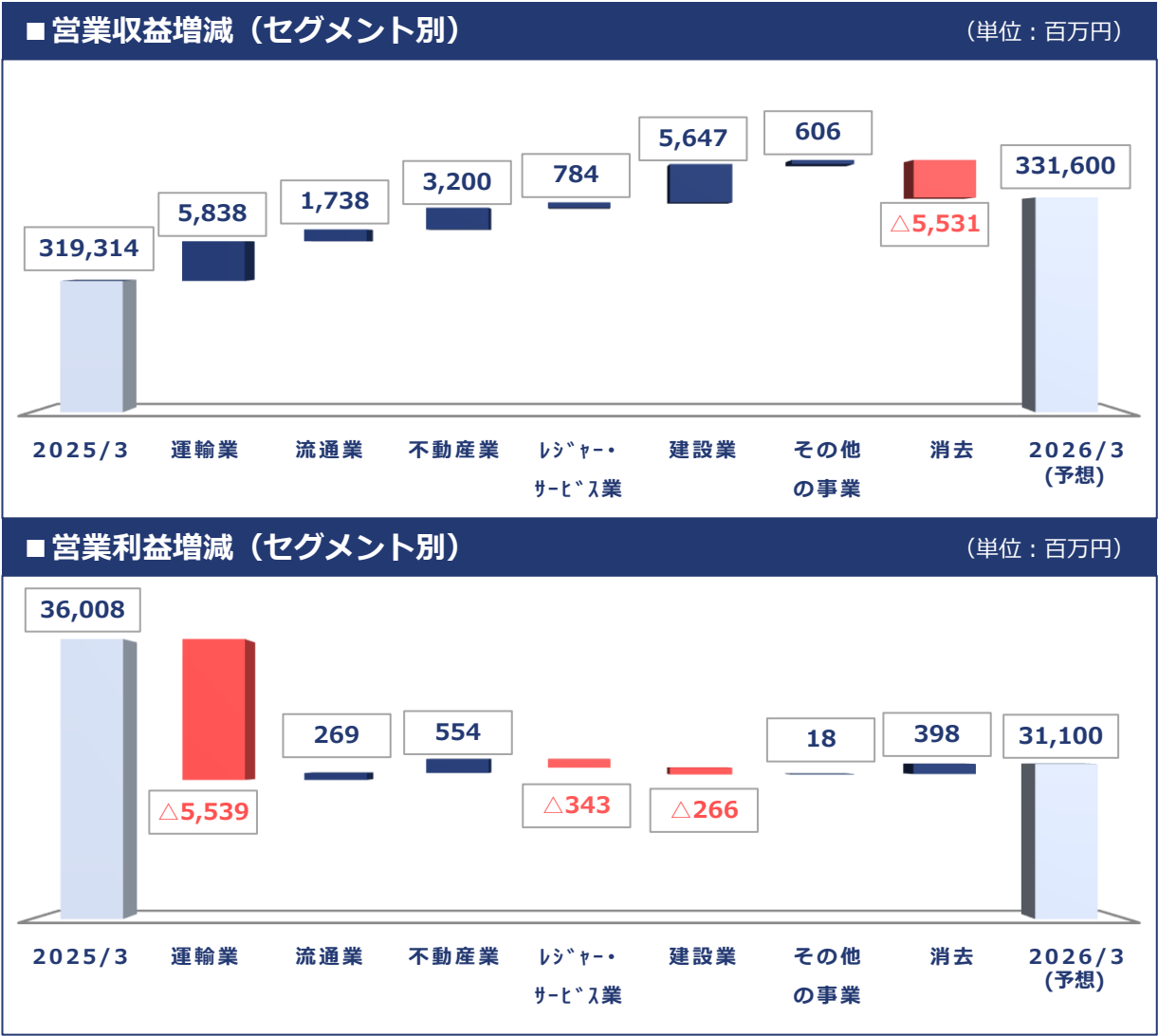
2-1. 業績予想【前期比較概要】

- ・ 成田空港輸送の更なる増加を見込む
- ・ 人件費、線路使用料等の増加及び組織再編による一時的な費用の増加を見込む

単位：百万円、%	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	率
営業収益	319,314	331,600	12,285	3.8
営業利益	36,008	31,100	△4,908	△13.6
経常利益	61,755	51,800	△9,955	△16.1
(持分法投資利益)	25,739	22,900	△2,839	△11.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	69,961	42,500	△27,461	△39.3
(関係会社株式売却益)	53,157	—	△53,157	—

減価償却費	32,600	34,500	1,899	5.8
設備投資額	65,577	93,500	27,922	42.6
有利子負債 ※	363,050	398,900	35,849	9.9
EBITDA倍率(倍) ※	5.3	6.1	0.8pt	—
自己資本利益率(ROE)	14.6	8.1	△6.5pt	—

※ 有利子負債にはリース債務を含む
EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)



1. 2025年3月期 連結決算
2. 2026年3月期 連結業績予想
- 3. D1プランの達成状況および今期の取組み**
4. 参考資料

3-1. 長期経営計画「Dプラン」概要

経営理念

グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

長期経営計画

長期経営計画

グループビジョン及びグループ長期経営課題により構成

- グループビジョン：京成グループの将来のありたい姿
- グループ長期経営課題：現状・将来分析、経営環境分析を踏まえた京成グループの長期的課題

中期経営計画
(3か年計画)

中期経営計画

- 長期経営計画に基づき事業戦略、数値目標を設定

D1プラン
(2022～2024年度)



D2プラン
(2025～2027年度)



D3プラン
(2028～2030年度)

3-2.グループビジョンとグループ長期経営課題

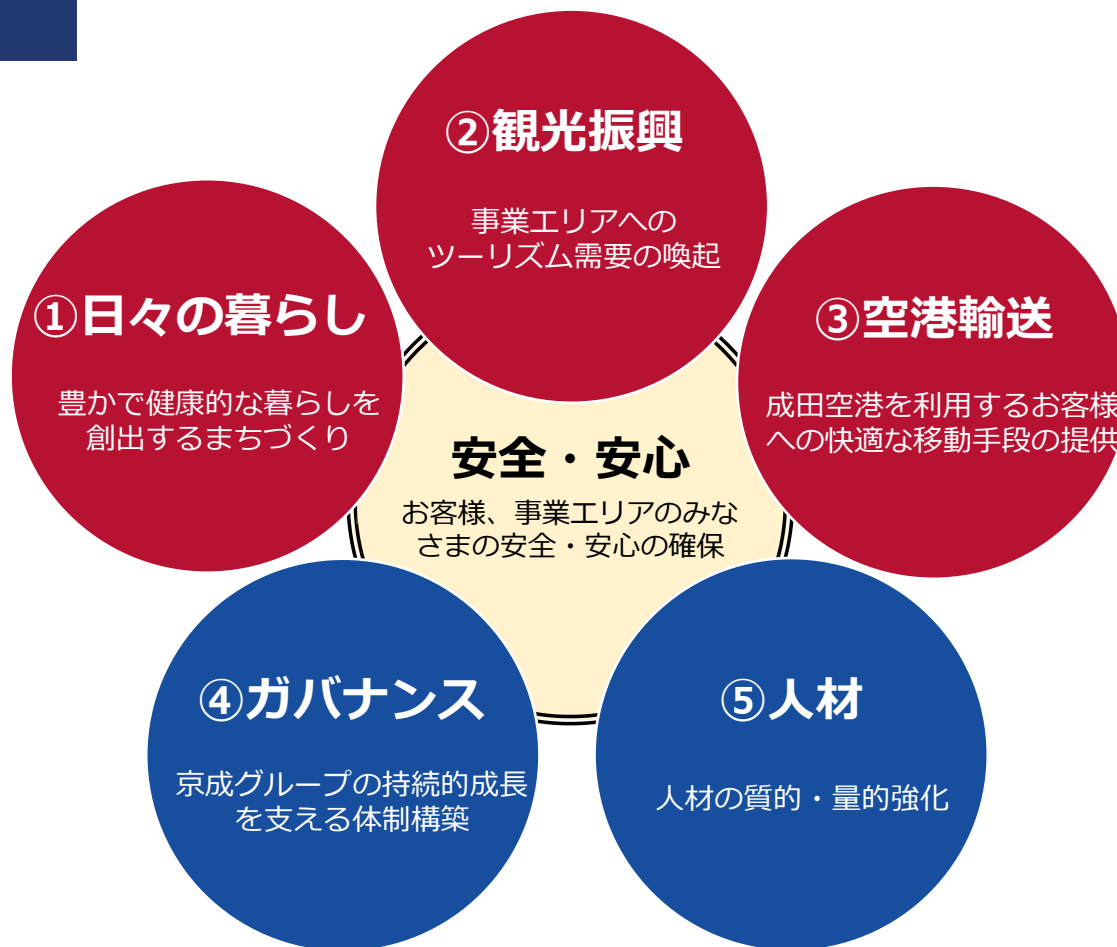
2030年のグループビジョン

京成グループの事業エリアのみなさまとの共創、及び、日本の玄関口、成田空港の機能強化への寄与を通じ、サステナブルな社会の実現に貢献する

長期経営課題

ビジョン実現に
向けた方向性

ビジョン実現の
ための基盤整備



3-3.中期経営計画「D1プラン」達成状況

中期経営目標

コロナ禍による低迷から成長軌道へと回帰するとともに、長期ビジョン実現に向けた経営推進体制を整備する。

本計画の位置付け

中期経営目標

コロナ禍による低迷から成長軌道へと回帰するとともに、長期ビジョン実現に向けた経営推進体制を整備する。

成長軌道への回帰

- 経済活動の本格的再開に伴う需要の取り込み
- 中長期的な成長戦略の推進

経営推進体制の整備

- 環境変化に強い事業ポートフォリオの構築
- サステナビリティに関する取り組み推進

2030年の
グループビジョン
(ありたい姿)
の実現

D1プランは、復調した空港輸送の需要の獲得、戦略投資枠の活用による収益賃貸物件の取得等に努めた結果、**3期連続増収・増益**となった。

また、新京成電鉄との合併やバス・タクシー、茨城県下のグループ事業の再編を通じ、経営推進体制の整備を完了した。

本計画
2022～2024年度

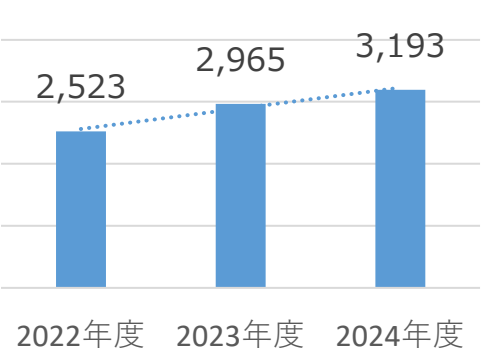


D2プラン
2025～2027年度

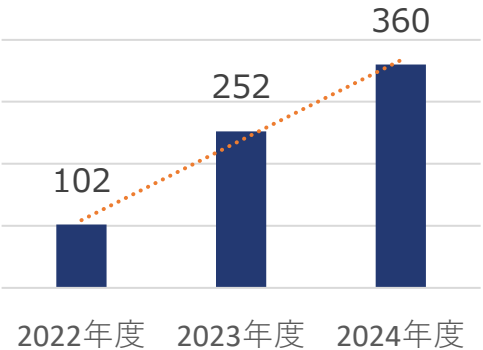


D3プラン
2028～2030年度

営業収益（億円）



営業利益（億円）



	2022年度	2023年度	2024年度	計画値
営業収益	2,523億円	2,965億円	3,193億円	3,390億円
営業利益	102億円	252億円	360億円	376億円
営業利益率	4.1%	8.5%	11.3%	11.1%
EBITDA倍率	9.6倍	6.9倍	5.3倍	5.4倍

3-4. 日々の暮らし

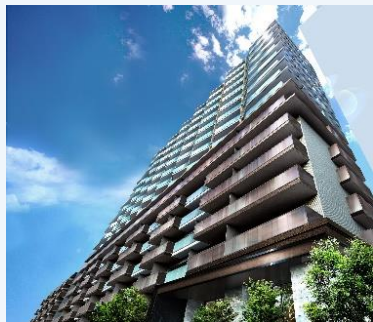


〔重点施策1〕 活力が持続するまちづくりの推進

■ 豊かな沿線の創出

●新鎌ヶ谷駅周辺の賑わい創出・回遊性向上

- 新鎌ヶ谷駅前商業施設の着工
- 分譲マンション「THE RESIDENCE 新鎌ヶ谷 TERMINAL FRONT」の着工



イメージパース（住宅棟）

- 「新鎌ヶ谷駅周辺地区市有地活用」事業予定者に選定



イメージパース
(左：オフィス 右：オフィス、一部飲食店)

●新津田沼駅周辺の再整備

- イオン株式会社との資本業務提携（2024年10月）
 - ・ 第一弾となる新津田沼駅周辺の再整備による新たなランドマーク化計画に基づき、駅隣接の「津田沼12番街ビル」改修工事着工
- 大規模賃貸住宅の建設



津田沼12番街ビル（改修工事中）



津田沼賃貸マンション（完成予想CG）

●分譲マンションの販売

- 「プレミスト千葉公園」・「サングランデ東松戸」全戸完売

●不動産賃貸業の強化

- 京成グループ事業エリアを中心に賃貸マンション「スカイグランデ千住」他、29物件を開発・取得（2024年度実績）



●事業エリアの皆さまとの賑わい共創

- 葛飾区および株式会社タカラトミーと協力し、青砥駅前広場にて「人生ゲーム」オリジナル装飾を実施（2025年3月）



駅名看板や電車内の装飾も実施

- 2024年4月にパートナー契約を締結した南葛SCと協力し、葛飾区内の小学校等52校にオリジナルサッカーボールを寄贈（2024年12月）

- 千葉ニュータウン活性化に向けて、UR都市機構・北総鉄道・千葉ニュータウンセンターの三者で連携を開始(2025年1月)



3-4. 日々の暮らし



〔重点施策2〕エコロジカルなまちづくりの推進

■ カーボンニュートラルに向けた取り組み

【京成グループCO₂排出量削減目標】

－2030年度までに2013年度比46%削減　2050年度までに実質「ゼロ」

- 『人や環境にやさしいフレキシブルな車両』をコンセプトとする新形式車両「3200形」導入（2025年2月）
 - 既存車両と比較して 電力消費量を約7割削減
- 京成グループ各社において、環境にやさしい「EVバス」を運行
- サステナブルな駅として、青砥駅をリニューアル（2025年3月）



新形式車両「3200形」



グループ各社の「EVバス」

【想定されるCO₂排出量削減効果】

- ・太陽光パネルの設置
⇒ CO₂排出量を年間約73t削減
- ・回生電力吸収装置の設置
⇒ CO₂排出量を年間約557t削減



太陽光パネルの設置



壁面緑化

3-5. 観光振興

〔重点施策1〕既存観光エリアの魅力向上

〔重点施策2〕新たな観光資源やルートの開発

■ マイクロツーリズムの促進

- 自治体や企業等と連携し、沿線内外の方に地域の魅力を発信・体感していただける施策を実施

- 市川市と連携し、市川真間駅に『いちかわ文化施設インフォメーション』を設置し、市の芸術文化に関する情報を発信（2025年3月）



- 新京成電鉄との合併を記念した企画を実施
 - ・ヘッドマーク掲出、イベント実施、グッズ販売 等



記念ヘッドマーク掲出



スタンプラリー実施



松戸線の魅力を発信する沿線情報誌を発行



千葉京成ホテルにて新京成8800形トレインルームを販売



セレクトショップ「FREAK'S STORE」とコラボし合併記念限定グッズを製作

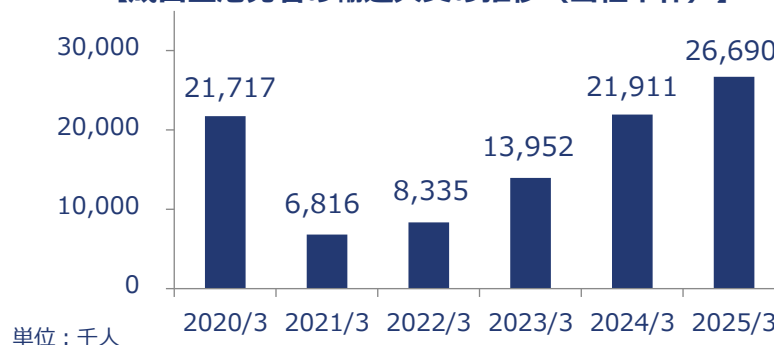
■ 長期経営課題「空港輸送」を通じた観光立国への貢献

- 空港アクセスの実績

- 2024年度のスカイライナー年間利用者数は約840万人
- 京成バス等が運行する東京駅と成田空港を結ぶエアポートバス東京・成田は2024年度で年間約200万人※のお客様が利用

※運行事業者（京成グループ6社、ジェイアールバス関東、ビー・トランセグループ3社）合計の乗車人員

【成田空港発着の輸送人員の推移（当社単体）】



- ・ 空港開港以降、スカイライナーを中心に鉄道・バス・タクシーにて航空旅客の輸送に貢献
今後も更なる輸送力拡大を予定
- ・ 10年間でスカイライナーの年間利用者数は約2.6倍に

3-6.空港輸送

〔重点施策1〕 成田空港の更なる機能強化への対応

〔重点施策2〕 更なる利便性の追求

■ 空港アクセスの利便性向上

- 宗吾車両基地拡充工事の推進
(2023年12月着手、2029年3月完了予定)
- ダイヤ改正の実施 (2024年11月)
 - 夜間時間帯のスカイライナー増便
- AI顔認証でスカイライナーに
乗車できる新サービスの導入
(2025年1月)
- Universal MaaS実証実験 (2025年2月)
 - ANA、日立製作所、京成電鉄、京急電鉄の4社で連携し、
サポートが必要な方の空港から先の移動をスムーズにすることを
目的としたサービスの検証を実施
- 空港連絡バス「エアポートバス東京・成田」増便



宗吾車両基地拡充工事



AI顔認証乗車サービス
「Skyliner e-ticket Face Check in Go」

■ 国内外へのプロモーション・販路の拡大

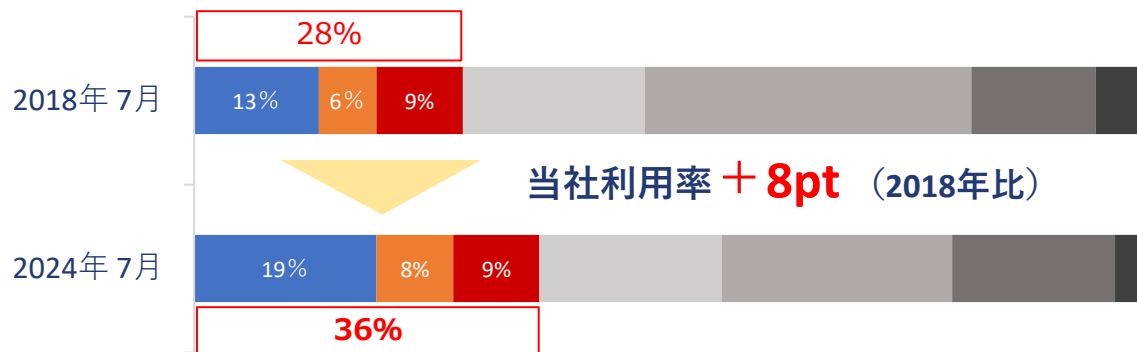
- 京成スカイライナーご利用5000万人到達
 - 記念式典の開催、記念ライナーの運行、
記念キャンペーン実施
- 国外における認知度向上と利用促進に向けた取り組み
 - 京成電鉄×台北メトロ 相互連携に関する合意書締結(2024年7月)
 - 海外旅行博への出展(台湾、マレーシア、香港)、国外の航空会社と
の共同キャンペーン実施 等



【成田空港における出発旅客の当社利用率】

出展：成田国際空港（株）2024年度 成田国際空港アクセス
交通等実態調査報告書を基に当社にて作成

■ スカイライナー ■ 成田スカイアクセス線 ■ 京成本線



3-7.ガバナンス

〔重点施策1〕 環境・社会に関する情報開示の充実

〔重点施策3〕 コーポレート・ガバナンスの強化

〔重点施策2〕 健全な財務体質の維持

■ コーポレート・ガバナンスの強化

● グループビジョンの確実な達成に向け、グループ経営推進体制を整備

＜鉄道・不動産事業＞
京成電鉄(株)による
新京成電鉄(株)の吸収合併
(2025年4月 効力発生)

＜茨城エリア＞
京成電鉄茨城HD(株)
(2025年4月 効力発生)

＜バス事業＞
京成電鉄バスHD(株)
(2025年4月 一部効力発生)

＜一般管理業務のシェアード
サービス化
(株) We京成
(2023年7月 稼働)＞

＜タクシー事業＞
京成電鉄タクシーHD(株)
(2025年3月 効力発生)

持続的な商品・サービスの提供や業務の効率化を図り、事業エリアと京成グループの企業価値の向上に寄与

3-7.ガバナンス

〔重点施策1〕 環境・社会に関する情報開示の充実

〔重点施策3〕コーポレート・ガバナンスの強化

〔重点施策2〕 健全な財務体質の維持

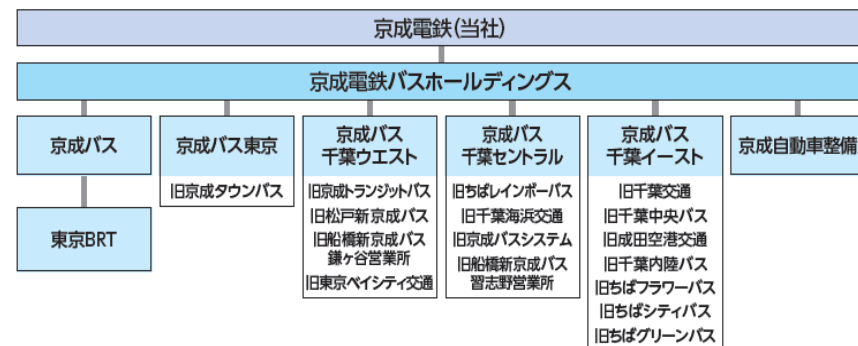
■ コーポレート・ガバナンスの強化

●グループビジョンの確実な達成に向け、グループ経営推進体制を整備

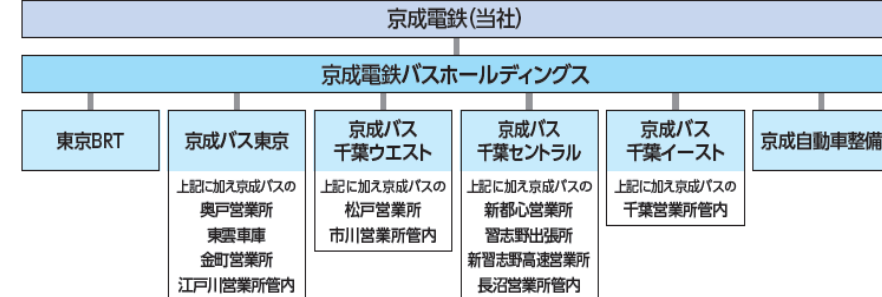
- ・京成電鉄と新京成電鉄が合併（2025年4月）
- ・バス事業、タクシー事業、茨城県内のグループ事業を再編（下図）



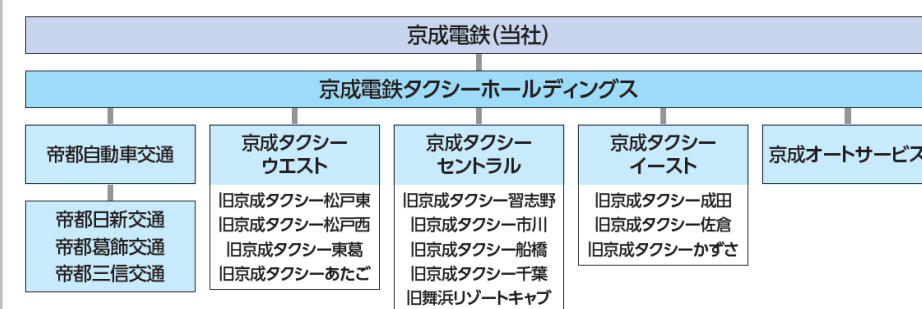
【バス事業】 18社→8社→7社 2025年4月1時点



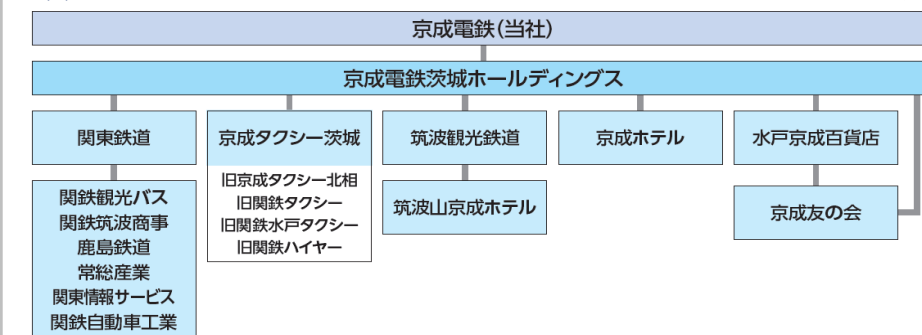
2026年4月1日時点



【タクシー事業】18社→9社 2025年3月1時点



【茨城県内】16社→14社 2025年4月1時点



〔重点施策1〕ダイバーシティの推進

〔重点施策2〕チャレンジする人材の育成

■ ダイバーシティの推進

● 多様な人材が活躍できる環境の整備

- 育児・介護等と仕事を両立できるよう各種制度や施設の整備を推進

【育児休業取得率】



【女性の育児休業後復職率】



【有給休暇取得率※】



※管理職（課長以上）を除く全社員



バス会社における
女性用休憩室



各職場において女性が活躍中

- 外国人人材の採用、技能実習生の受け入れ
- 定年延長の実施、退職者を再度採用する制度の整備
- ダイバーシティに関する講演会を通じた意識・風土の醸成



筑波山京成ホテルで
活躍中の外国人人材

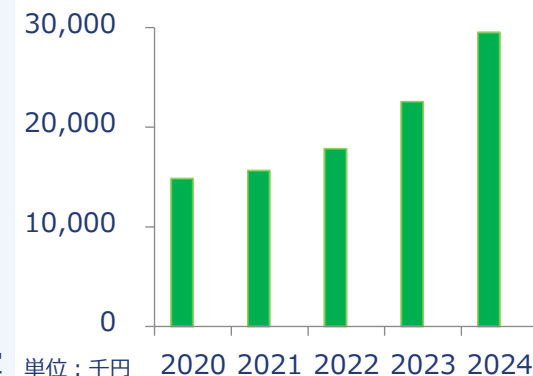
■ 人への投資

● 人材の質的・量的確保に向けた採用人数の増加

● キャリアステップの支援

- グループ外企業／団体との人事交流の促進
- 京成グループにおける公募研修の拡充・教育訓練費の増加

【教育訓練費の推移（研修費）】



● 安全意識の定着に向けた教育訓練の充実

- 安全文化の醸成（研修や講演会の実施等）
- 異常時への対策（実践的な訓練の実施等）



安全啓発施設
「安全共創室」

訓練の様子

● 働きやすい環境の整備

- UR都市機構と連携し、京成グループ従業員を対象とする住宅確保に関する協定を締結（2024年9月）
- 「京成グループ カスタマーハラスメントに対する方針」策定（2024年10月）
- 処遇改善、新規福利厚生制度の導入推進

3-9.安全・安心



〔重点施策1〕 災害対策の強化

〔重点施策2〕 お客様の安全を守る取り組みの強化

〔重点施策3〕 テクノロジーの活用

■ 2024年度鉄道事業設備投資実績

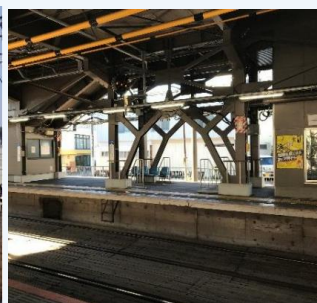
232億円（昨年度実績比+73億円） ※京成電鉄(株)単体数値

■ 災害対策の強化

- 法面補強工事の推進（京成成田駅～空港第2ビル駅間等）
- 耐震補強工事の推進（京成佐倉駅、千葉寺駅～ちはら台駅間等）
- 荒川橋梁架替工事の推進



法面補強工事



耐震補強工事



荒川橋梁架替工事

■ 安全対策／テクノロジー

- 押上線葛飾区内連続立体交差事業の推進
 - 京成立石駅の駅舎外装デザインが決定（2024年9月）
 - 仮下り線への切り替え（2024年11月）



京成立石駅駅舎外装デザイン



仮下り線ホーム

- 鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備を推進
 - 京成高砂駅、青砥駅、鬼越駅ホームドア等
- 駅ホームの改修（宗吾参道駅）
- 駅施設リニューアル工事（市川真間駅・京成中山駅等）
- 通勤型車両への防犯カメラ設置を推進

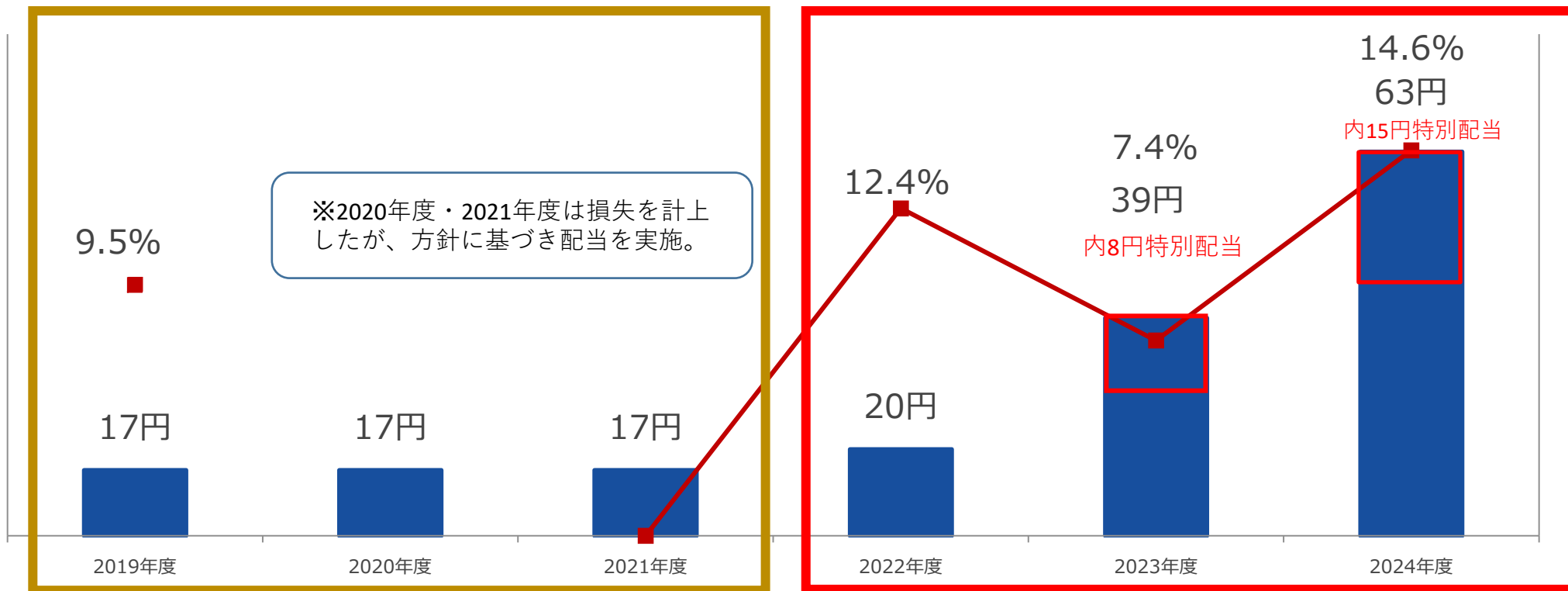


車両の防犯カメラ

3-10.株主還元について

- 基本方針：業績等を勘案しながら、株主の皆様へ安定的かつ継続的に利益還元する（連結配当性向：10%以上を目標）
- 業績等を踏まえ、2024年度の1株当たり年間配当金は第2四半期末18円、期末15円※を予定
※2025年1月1日をもって株式分割（1株につき3株）を実施しました。期末配当金は分割後の金額です。

連結配当性向および1株当たり配当金（年間）の推移



※表中の配当金額は分割前の金額

- 2024年度は業績等を勘案し、100億円の自己株式取得を実施

1. 2025年3月期 連結決算
2. 2026年3月期 連結業績予想
3. D1プランの達成状況および今期の取組み
4. 参考資料

4-1.セグメント別業績 [運輸業]

インバウンド需要の増大に伴う成田空港輸送の増加等により増収増益

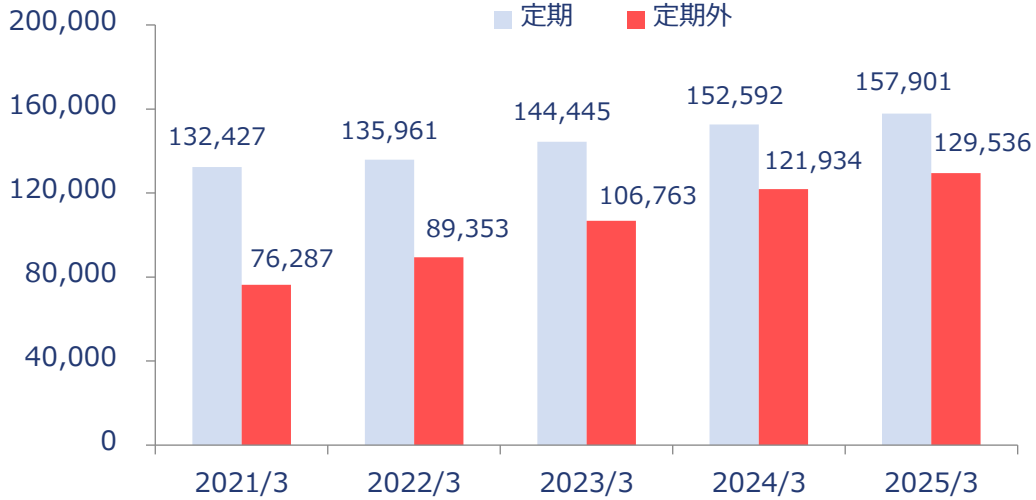
単位：百万円、%	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	180,360	198,261	17,900	9.9	
鉄道事業	91,939	103,342	11,403	12.4	成田空港輸送の増加
バス事業	55,975	59,603	3,628	6.5	運賃改定に伴う増収 成田空港輸送の増加
タクシー事業	32,446	35,315	2,868	8.8	運賃改定に伴う増収 車両稼働率の上昇
営業利益	11,967	20,939	8,971	75.0	
鉄道事業	8,083	15,377	7,293	90.2	
バス事業	2,999	4,611	1,612	53.8	
タクシー事業	884	950	65	7.5	
減価償却費	26,344	25,332	△1,011	△3.8	

4-1.セグメント別業績 運輸成績 [当社単体・新京成電鉄]

■ 輸送人員

単位：千人、%	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	率	新京成電鉄 2025/3 実績
定期	152,592	157,901	5,309	3.5	61,036
定期外	121,934	129,536	7,602	6.2	36,471
合計	274,526	287,437	12,911	4.7	97,507

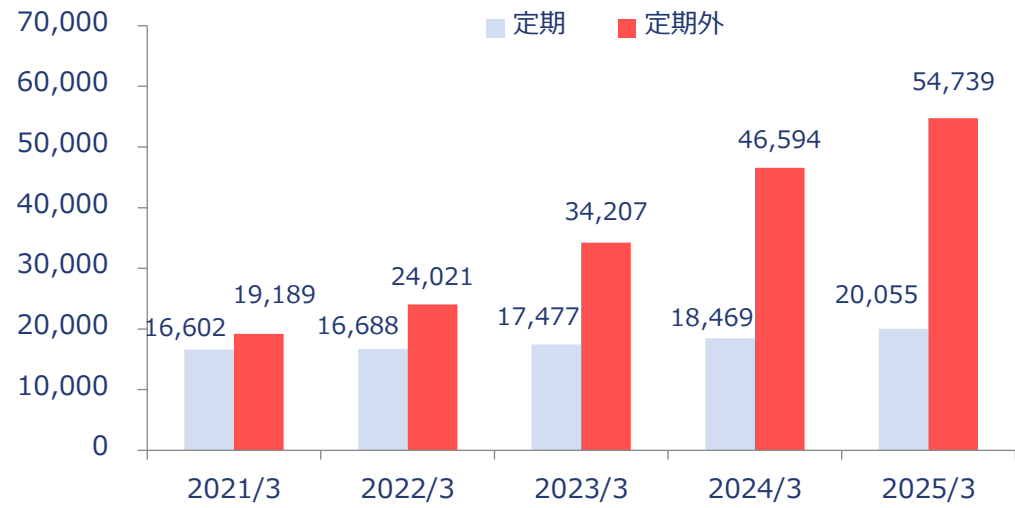
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	率	新京成電鉄 2025/3 実績
定期	18,469	20,055	1,586	8.6	5,407
定期外	46,594	54,739	8,145	17.5	6,085
合計	65,063	74,795	9,731	15.0	11,492

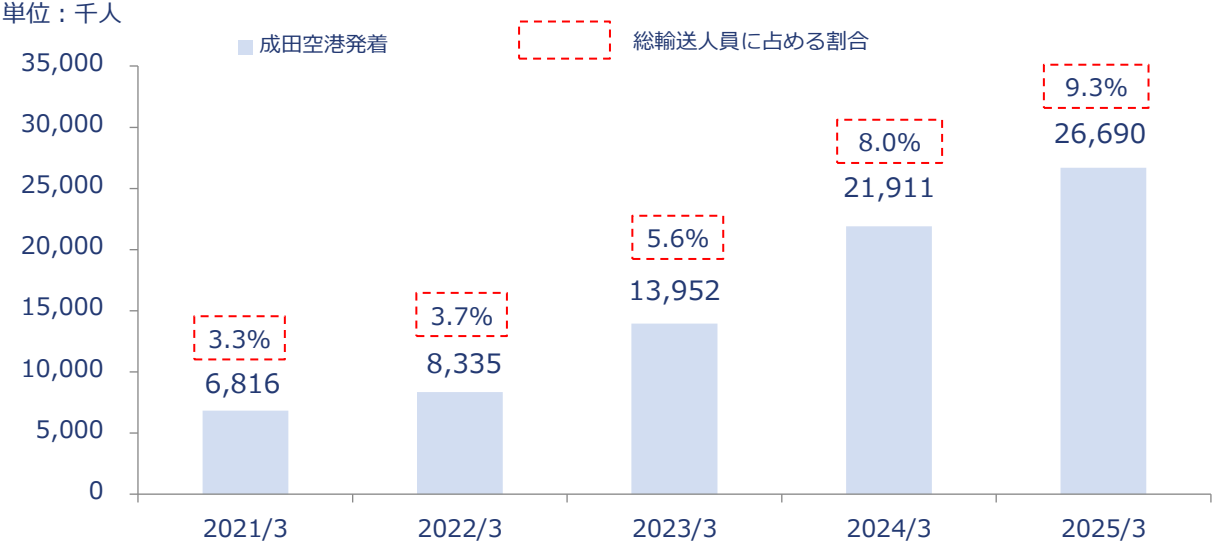
単位：百万円



4-1.セグメント別業績 成田空港輸送成績 [当社単体]

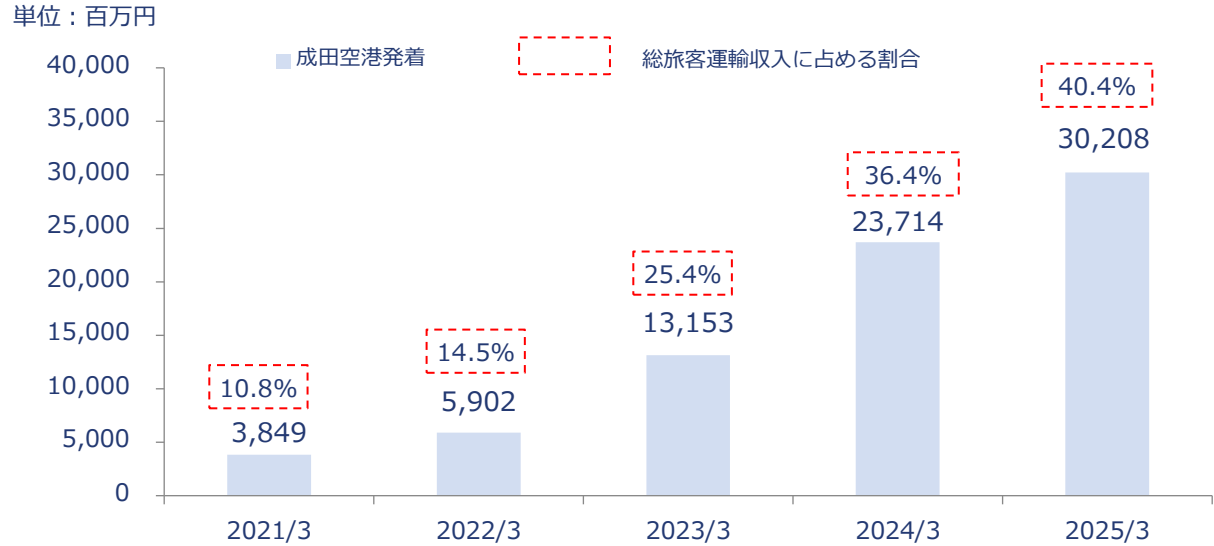
■ 輸送人員

単位：千人、%	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	率
成 田 空 港 発 着	21,911	26,690	4,779	21.8
有 料 特 急	7,132	9,182	2,050	28.7



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	率
成 田 空 港 発 着	23,714	30,208	6,493	27.4
有 料 特 急	7,165	9,340	2,174	30.3



4-1.セグメント別業績 [流通業]

ストア業の新店効果及び既存店が堅調に推移したことにより増収、人件費等が増加したことにより減益

単位：百万円、%	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	56,292	57,661	1,368	2.4	
ストア業	40,747	42,273	1,525	3.7	新店の寄与 ※ 既存店の伸長
百貨店業	9,921	9,974	53	0.5	
その他	5,623	5,413	△209	△3.7	
営業利益	445	330	△114	△25.7	※主な新店 京成ストア 業務スーパー八街店(2023年3月)、業務スーパー東松戸店(2023年5月) マツモトキヨシ前原店(2024年11月) コミュニティー京成【ファミリーマート】 印旛日本医大駅店(2023年7月) コミュニティー京成【プロント】 ららテラスTOKYO-BAY店(2024年3月)、海浜幕張店(2024年9月)
ストア業	541	506	△35	△6.5	
百貨店業	△197	△326	△129	－	
その他	101	151	50	49.7	

4-1.セグメント別業績 [不動産業]

新規賃貸物件の寄与等により増収増益					
単位：百万円、%	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	33,525	35,599	2,074	6.2	
賃 貸 業	25,875	27,568	1,692	6.5	新規賃貸物件の寄与 ※
販 売 業	3,273	3,055	△218	△6.7	分譲マンションの差異 ※
管 理 業	4,376	4,976	600	13.7	
営業利益	10,077	10,545	468	4.6	※主な新規賃貸物件・分譲マンション 賃貸物件 墨田区錦糸オフィスビル(2024年10月)、柏市商業ビル(2023年9月) 分譲マンション(2024/3) サングランデ千葉 都賀テラス 87戸 分譲マンション(2025/3) サングランデ東松戸 33戸、プレミスト千葉公園(共同事業)
賃 貸 業	9,362	9,863	501	5.4	
販 売 業	291	197	△93	△32.2	
管 理 業	424	484	60	14.3	
減価償却費	5,879	6,094	215	3.7	

4-1.セグメント別業績 [レジャー・サービス業、建設業、その他の事業]

■レジャー・サービス業

単位 : 百万円、%	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	17,047	19,115	2,067	12.1	宿泊需要の増加
営業利益	716	1,643	927	129.5	

■建設業

単位 : 百万円、%	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	31,414	36,252	4,837	15.4	建築工事の増加
営業利益	1,826	2,366	539	29.5	

■その他の事業

単位 : 百万円、%	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	10,061	11,793	1,731	17.2	自動車特殊車体製造業における完成台数の増加
営業利益	228	481	252	110.3	

4-2.セグメント別業績予想【運輸業】

- ・ 成田空港輸送の更なる増加を見込む
- ・ 人件費、線路使用料等の増加及び組織再編による一時的な費用の増加を見込む

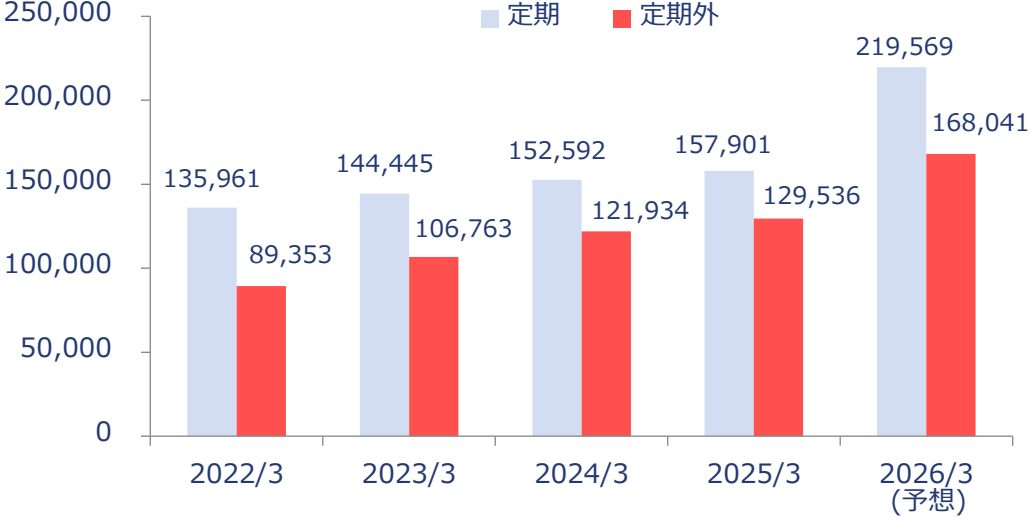
単位：百万円、%	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	率	増減要因
営業収益	198,261	204,100	5,838	2.9	成田空港輸送の更なる増加を見込む
鉄道事業	103,342	105,500	2,157	2.1	
バス事業	59,603	62,900	3,296	5.5	
タクシー事業	35,315	35,700	384	1.1	
営業利益	20,939	15,400	△5,539	△26.5	人件費、組織再編費用の増加を見込む
鉄道事業	15,377	11,700	△3,677	△23.9	線路使用料の増加を見込む
バス事業	4,611	3,200	△1,411	△30.6	
タクシー事業	950	500	△450	△47.4	
減価償却費	25,332	26,600	1,267	5.0	

4-2.セグメント別業績予想 運輸成績 [当社単体]

■ 輸送人員

単位：千人、%	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	率	2026/3予想 うち松戸線 (旧新京成電鉄)
定期	157,901	219,569	61,668	39.1	61,405
定期外	129,536	168,041	38,505	29.7	36,894
合計	287,437	387,610	100,173	34.9	98,299

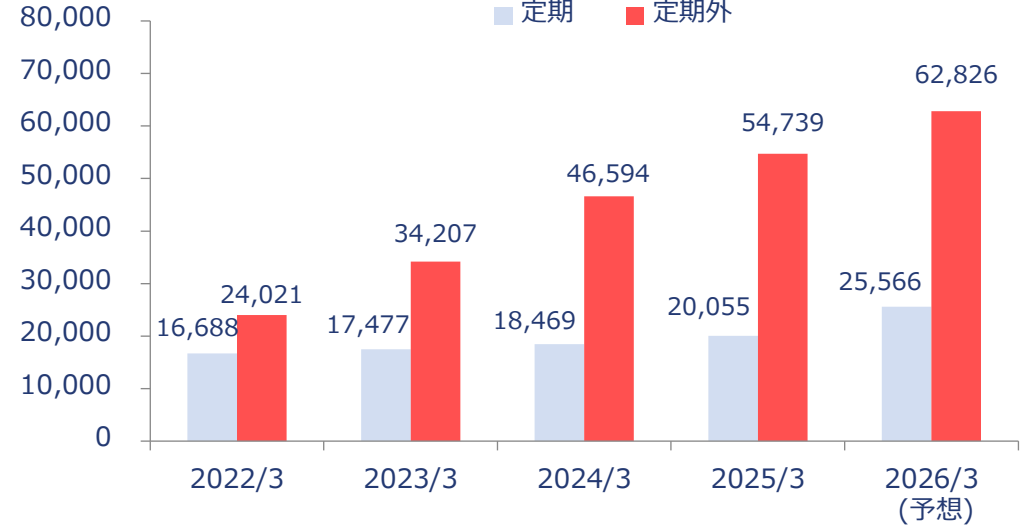
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	率	2026/3予想 うち松戸線 (旧新京成電鉄)
定期	20,055	25,566	5,511	27.5	5,429
定期外	54,739	62,826	8,086	14.8	6,153
合計	74,795	88,392	13,597	18.2	11,582

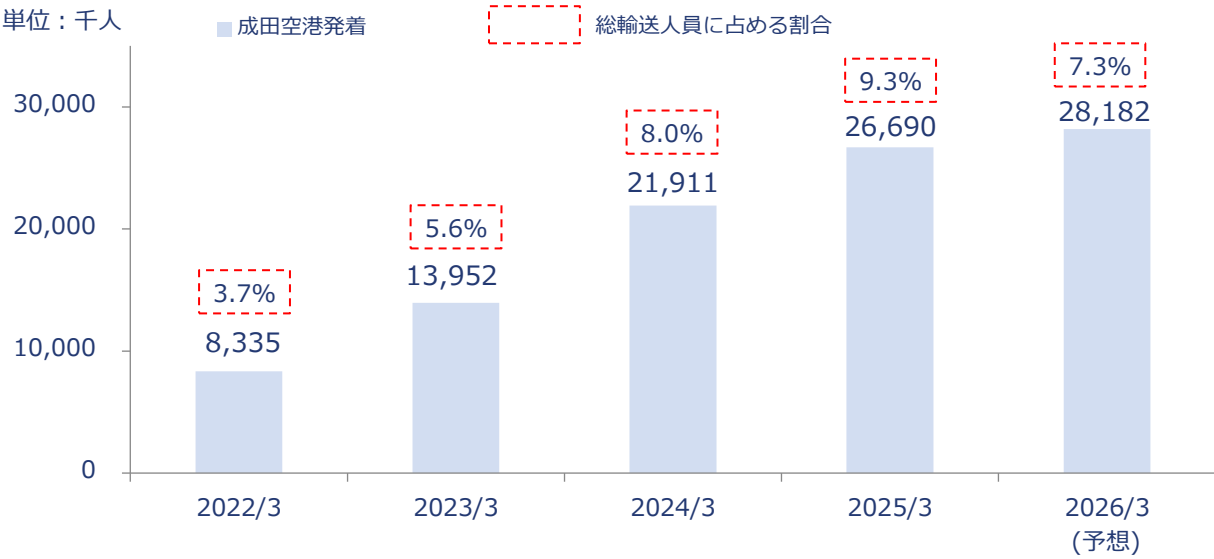
単位：百万円



4-2.セグメント別業績予想 成田空港輸送成績 [当社単体]

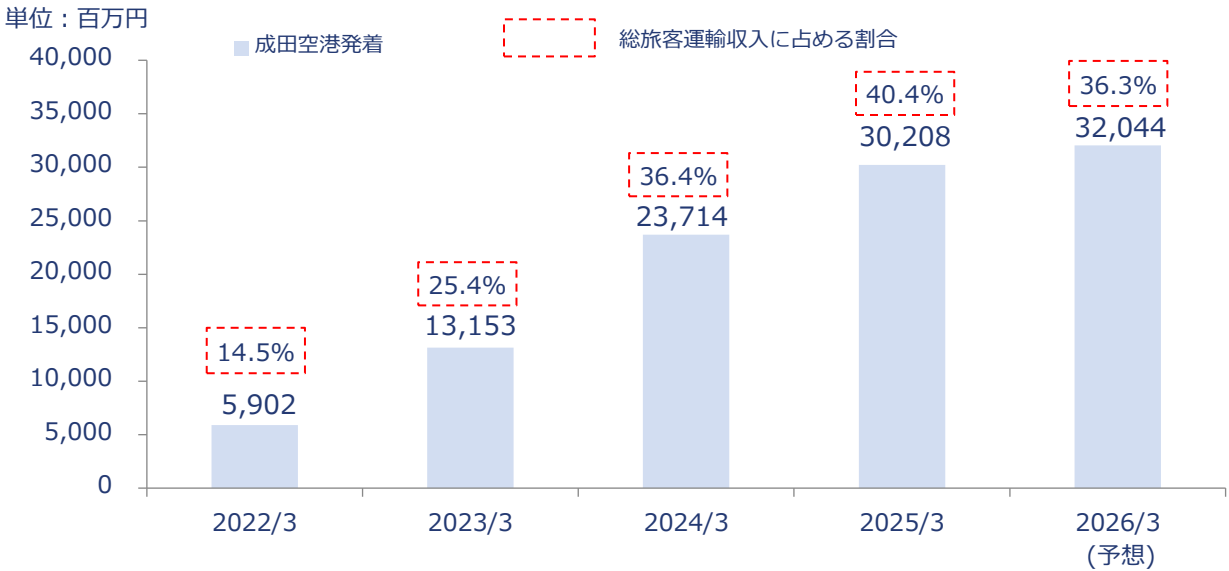
■ 輸送人員

単位：千人、%	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	率
成 田 空 港 発 着	26,690	28,182	1,492	5.6
有 料 特 急	9,182	9,699	517	5.6



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	率
成 田 空 港 発 着	30,208	32,044	1,835	6.1
有 料 特 急	9,340	9,916	575	6.2



4-2.セグメント別業績予想【流通業】

ストア業における新店効果及び既存店の販売強化を見込む

単位：百万円、%	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	率	増減要因
営業収益	57,661	59,400	1,738	3.0	
ストア業	42,273	43,300	1,026	2.4	
百貨店業	9,974	10,400	425	4.3	
その他	5,413	5,700	286	5.3	
営業利益	330	600	269	81.3	※主な新店 京成ストア マツモトキヨシ船橋前原店(2024年11月) コミュニティー京成【プロント】 海浜幕張店（2024年9月）
ストア業	506	500	△6	△1.2	
百貨店業	△326	△100	226	—	
その他	151	200	48	32.2	

4-2.セグメント別業績予想 [不動産業]

新規賃貸物件の寄与等を見込む

単位 : 百万円、%	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	率	増減要因
営業収益	35,599	38,800	3,200	9.0	
賃 貸 業	27,568	30,100	2,531	9.2	
販 売 業	3,055	3,900	844	27.7	分譲マンションの差異 ※
管 理 業	4,976	4,800	△176	△3.5	
営業利益	10,545	11,100	554	5.3	※主な分譲マンション 2025/3 サングランデ東松戸 33戸、プレミスト千葉公園(共同事業) 2026/3 サングランデ東松戸 20戸、サングランデ南流山ザ・コート 46戸
賃 貸 業	9,863	10,800	936	9.5	
販 売 業	197	0	△197	△100.0	
管 理 業	484	300	△184	△38.1	
減価償却費	6,094	6,600	505	8.3	

4-2.セグメント別業績予想 [レジャー・サービス業、建設業、その他の事業]

■レジャー・サービス業

単位：百万円、%	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	率	増減要因
営業収益	19,115	19,900	784	4.1	飲食事業における新店効果及び既存店の営業強化を見込む
営業利益	1,643	1,300	△343	△20.9	

■建設業

単位：百万円、%	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	率	増減要因
営業収益	36,252	41,900	5,647	15.6	建築工事の増加を見込む
営業利益	2,366	2,100	△266	△11.2	

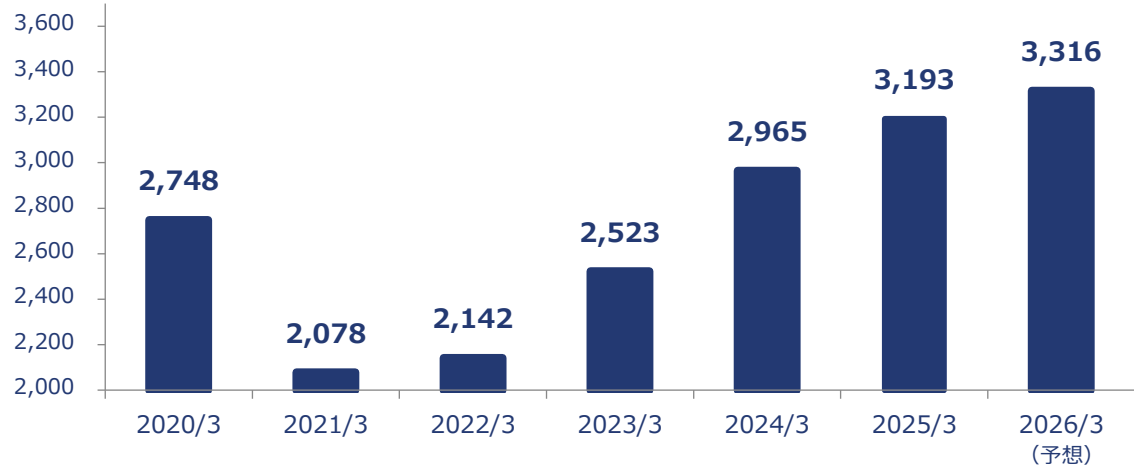
■その他の事業

単位：百万円、%	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	率	増減要因
営業収益	11,793	12,400	606	5.1	
営業利益	481	500	18	3.9	

4-3.財務ハイライト

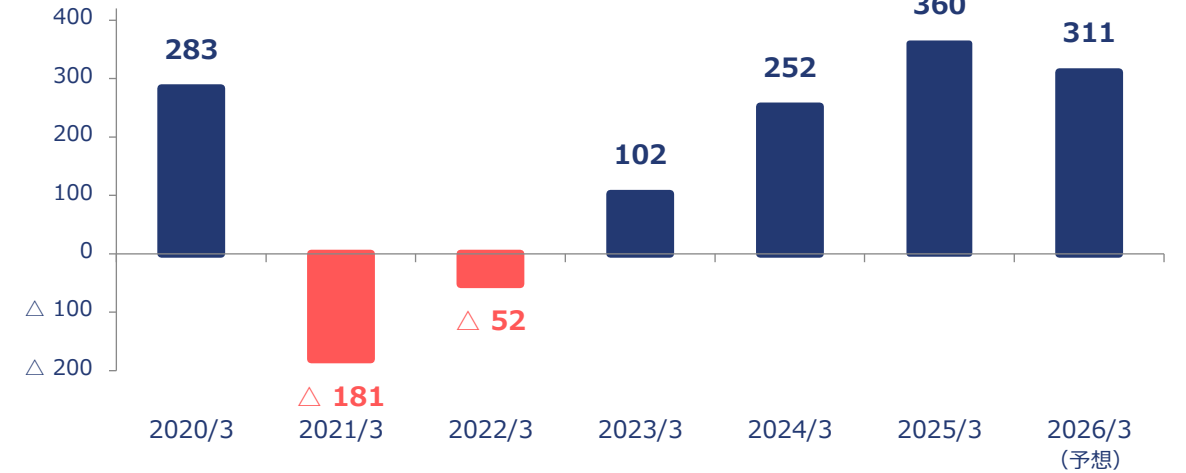
■ 営業収益

(単位：億円)



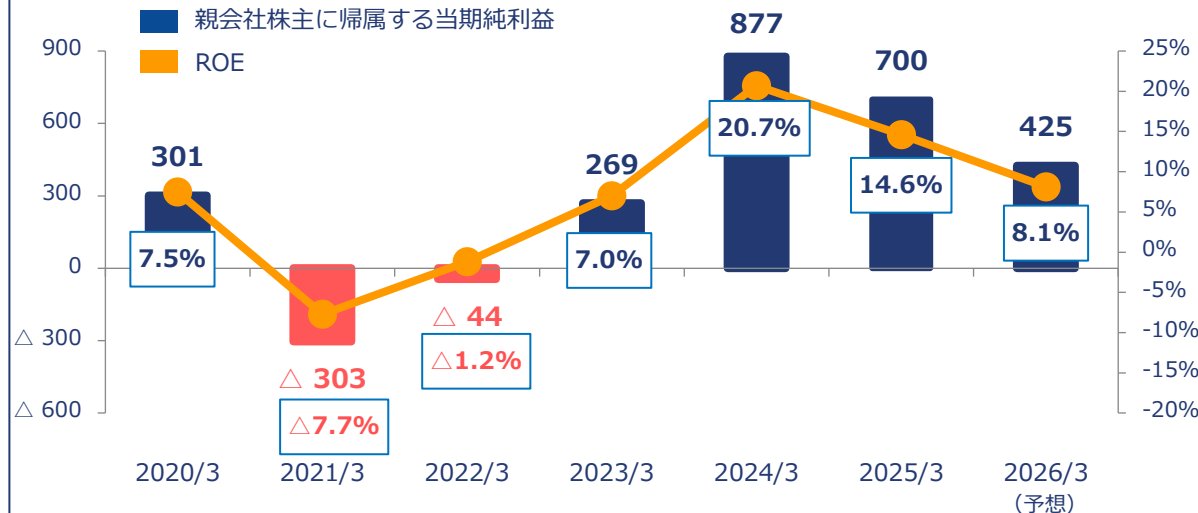
■ 営業利益

(単位：億円)



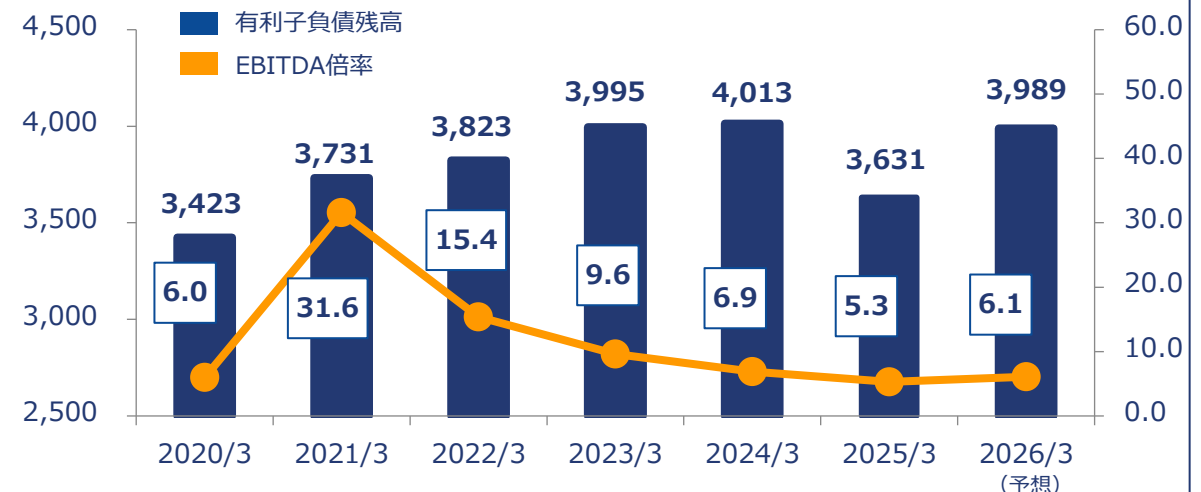
■ 親会社株主に帰属する当期純利益・ROE

(単位：億円、%)



■ 有利子負債・EBITDA倍率

(単位：億円、倍)



4-4.沿線人口の推移

2025年4月、2019年4月（前中期経営計画「E4プラン」初年度）比

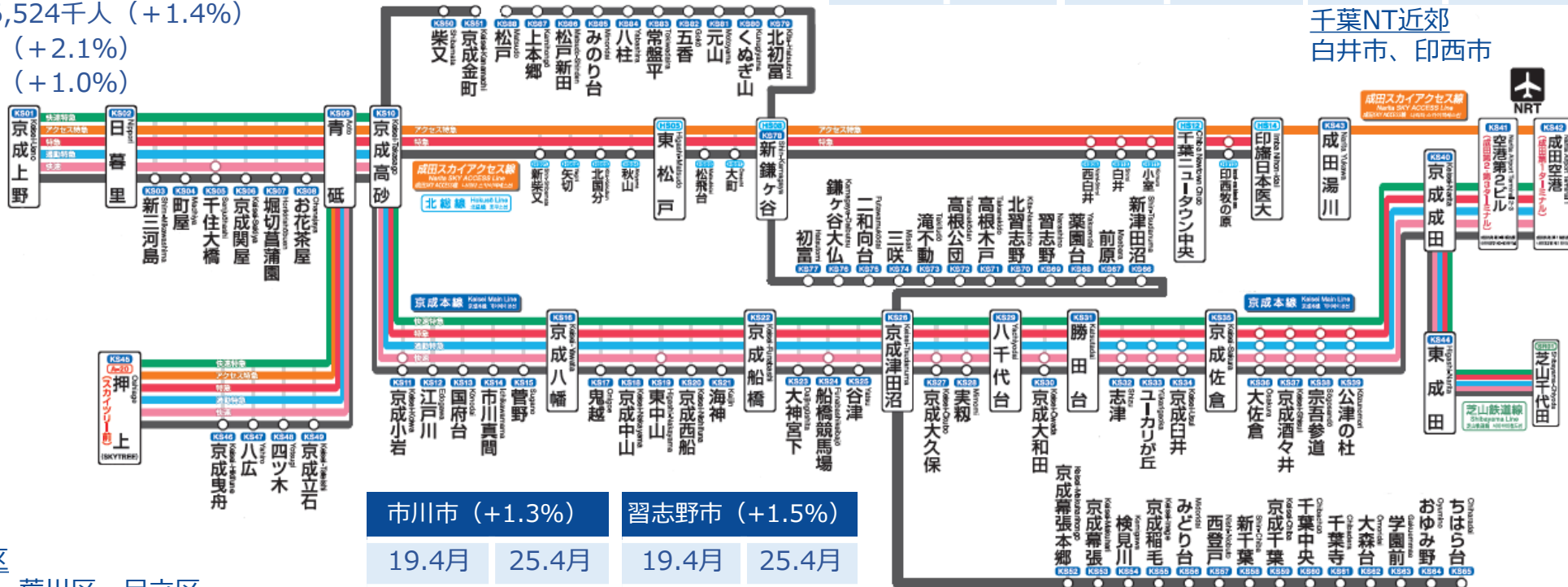
单位：千人

エリア	東京都東部・千葉県
営業距離	178.8km(当社、北総)
駅数	101駅
自治体数	都内6区、県内13市 2町
沿線人口	6,524千人 (+1.4%)
都内	2,592千人 (+2.1%)
県内	3,931千人 (+1.0%)

松戸市（+1.9%）		鎌ヶ谷市（+0.4%）		千葉NT近郊（+5.5%）		成田市近郊（+0.3%）	
19.4月	25.4月	19.4月	25.4月	19.4月	25.4月	19.4月	25.4月
491	500	109	110	161	170	210	210

千葉NT近郊
白井市、印西市

成田市近郊
成田市、富里市、
酒々井町、芝山町



都内6区
台東区、荒川区、足立区
葛飾区、江戸川区、墨田区

都内6区 (+2.1%)

19.4月	25.4月
2,539	2,592

市川市 (+1.3%)

19.4月	25.4月
494	501

習志野市 (+1.5%)

19.4月	25.4月
173	176

船橋市 (+2.0%)

19.4月	25.4月
637	649

八千代市 (+3.4%)

19.4月	25.4月
197	204

佐倉市 (△4.3%)

19.4月	25.4月
171	164

千葉市 (+0.7%)

19.4月	25.4月
978	985

市原市 (△3.5%)

19.4月	25.4月
271	262

数値は自治体公表値による

**本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。
実際には様々な要因により異なる結果となる場合がある
ことをご承知おきください。**

本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

<https://www.keisei.co.jp/keisei/ir/>